EXPARTNER

EXP-V10

［1 ボイス ソーラータイプ］
超高感度 GPSレーダー探知機

EXP-V10

取扱説明書　保証書　12V車専用

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

- 超高感度GPS受信機能（GPS-EX）搭載
  高架下でも受信が途切れにくい。
- EXTRA/エクストラ感度ON/OFF
- GPS17識別（トンネル内オービス警報対応）
- 5パント受信機能
  GPS、X・Kバンドの他に、無線2バンド受信をプラス。
- インテリジェントキャンセル
  誤警報をシャットアウト。必要なときだけが鳴って警報します。
- iDSP
  統合的デジタル信号処理技術（デジタル）により、超高精度識別を実現。
- レーダーアラーム

- 本機を初めてご使用になられる場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。
- 本機は、シガープラグコードを接続せずにニックル水素電池だけで使用することも可能ですが、概能を十分にご使用いただくために、通常は、シガープラグコードを接続から接続してご使用いただくことをおすすめいたします。
- レーダー波を発射しない取締り方式（光電磁式、ステルス型取締り、ループコイル、Hシステム、追尾方式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用中の速度に関して、一切の責任を負いかねます。日頃から安全運転をおがけください。

ご使用にあたって

- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信にくくなり、GPS測位機能が働かない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 必ず専用のシガーソケットに本製品を接続してご使用ください。ソーラー電卓などと違い、ソーラーパネルだけで動作させることはできません。

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（右記欄で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常な使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	EXP-V10	S/No.

お買い上げ日	年　月　日
保証期間	無料修理	対象部分 機器本体（消耗部品は除く）	お買い上げの日から 1年
お客様	ご住所 〒　TEL（　） お名前　様
販売店	住所 〒　TEL（　） 店名

無効

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に修理をご依頼される場合には、本書をご提示ください。また、本書を添付の上、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店よりの修理に関するご相談ができない場合には、ユピテル相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   （ホ）故障の原因が他の製品にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
※ 本書を紛失しないようにご大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、ユピテル相談窓口にお問い合わせください。

修理メモ（症状をなるべく詳しくご記入ください。［故障内容］［取り付け準備・年式］）

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをしようとすることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：	危険内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。
⚠警告：	警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意：	注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫 してはいけない「禁止」内容です。
❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

株式会社 ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6S51301-B

●ニッケル水素電池について

⚠危険

- 分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ニッケル水素電池の端子部をお金属などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管したり、持ち運びしない…ニッケル水素電池がショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 万一、ニッケル水素電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- ニッケル水素電池を落らさない。また、潰れたニッケル水素電池を充電しない…使用しない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- ニッケル水素電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気付いたときは、使用しない…発熱、発煙、破裂、発火の原因になる恐れがあります。

⚠注意

- ニッケル水素電池を充電するときは、取扱説明書をよくお読みください。
- 指定（専用ニッケル水素電池）以外の電池を使用しないでください。
- ニッケル水素電池の被覆をはがさない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 火のそば、ストーブの そばなどで充電したり、放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管します。また、使用する際も、乳幼児が機器本体から取り出さないように注意ください。

●本機について

⚠危険

- 水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（レーキ、バッグ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が邪ばくな状態となり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
- 急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転と、大変危険です。また、本体などの脱落・落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

- **本機は日本国内仕様です。海外では ご使用にならないでください。**
- 取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガや破損の原因となります。
- 車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源スイッチをOFFにしてください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンをはめても、シガーライターソケットに、突時電源が供給される車種があります。ので、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- 本体を保管する場合は、ソーラーパネルや本体外装部が衝撃等により破損しないように注意ください。
- シガープラグコードを抜くときは、コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガーライターソケットに差し込むプラグ部分を持って抜いてください。
- お手入れの際は、シガープラグコードを抜く…感電の原因となります。

各部の名称と働き

付属品

- シガープラグコード(約3m)（1）
- 専用ニッケル水素電池（1）
- マジックテープ（1）
- サンバイザークリップ（1）
- 電池カバー（1）
- 取扱説明書・保証書（1）

別売品のお知らせ

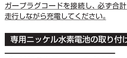
- 電源直結コードOP-4（約4m）
  本体1,500円＋税
  シガープラグコードセットを使わずに、アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。
- 交換用ニッケル水素電池
  本体2,000円＋税

電源について

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーパネルによる簡単からの補充用ができます。
初めてご使用になるときやニッケル水素電池が消耗した場合は、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間（例 1日2時間で5日）以上、走行しながら充電してください。

専用ニッケル水素電池の取り付け

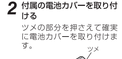
1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する
本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。



2 付属の電池カバーを取り付ける
ツメの部分を押さえて蓋実に電池カバーを取り付けます。

ニッケル水素電池を外すときは（交換時など）

電池カバーを外してから、ニッケル水素電池を外します。
⚠安起部などでケガをする恐れがありますので、ご注意ください。



- 充電中は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。
- 付属の専用ニッケル水素電池は寿命があります。充電を行っても、使用できる時間が短くなった場合は、新しい専用ニッケル水素電池が必要です。交換については買い上げの販売店、またはユピテル相談窓口にご相談ください。

お知らせ 本機は、リサイクル可能な電池（ニッケル水素電池）を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して保管の金属部に触れないように処分してください。

- リサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRのホームページ(http://www.jbrc.net/hp/)をご参照ください。

専用ニッケル水素電池の充電

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

2、3回左にひねりながらシガーライターソケットに差し込んでください。
※エンジンをはめた場合に、シガーライターソケットに電源が供給されない車種であれば、シガープラグコードを常に接続した状態でご使用いただけます。

2 10時間（例 1日2時間で5日）以上使いながら充電したあと、シガープラグコードを抜いてから、ミュートボタンを押し、バッテリー表示が緑色点灯であることを確認する
- 本機はDC12V（マイナスアース）車専用です。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズが入っていますが、ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズと交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードをお買い上げの販売店、またはユピテル相談窓口にご相談ください。
- 一部の車種においては電源コードの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4をご使用ください。
- 充電終了後も専用ニッケル水素電池は装着したままご使用ください。

本機は、ニッケル水素電池だけで使用することも可能ですが、一部の機能が搭載機能となります。機能を充分にご使用いただくためにも、通常は、シガープラグコードを接続（DC12V電源を供給）してご使用いただくことをおすすめいたします。

オートパワーON/OFF機能について

● シガープラグコード接続時
電源スイッチON状態で、シガープラグコードまたは電源直結コード(OP-4)接続時は、DC12V電源の供給の有/無で電源をON/OFFします。

● ニッケル水素電池だけで使用時
電源スイッチON状態で、アイドリングなどの振動のない状態（停車中）で、エンジンをはめたときなど振動のない状態（停車中）が3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。再度、振動を検出すると電源が入ります。
- 振動の有無の違いや場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源をOFFしてください。
- 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が3分間続いた場合には自動的に電源が切れます。

ローバッテリー警告（アラーム）とバッテリー残量表示

●ローバッテリー警告（アラーム）
初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリー（専用ニッケル水素電池）が消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム（ピピピッ ピピピッ ・・・）が鳴り出します。
このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い充電を行ってください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 すべての機能が動作しなくなります。（約1分間）	赤色点滅 ローバッテリーアラームが鳴ります。 ピピピッ ピピピッ ピピピッ

●バッテリーの残量の確認
シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

- 充電ケースをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- GPS測位が不安定な場合や警報回数が多くなると、バッテリー（専用ニッケル水素電池）の消耗を早め、10時間程度でローバッテリー警告になることがあります。
  ※連続使用時間は、各機種個別の設定状態により異なります。
- 本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に対して、電波を多く消費するため、GPSパワーセーブ機能がついています。ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。
- 本機は、日頃時間やソーラーパネルの性能上、充電しにくくなります。

取り付けかた

ダッシュボードに取り付ける

1 付属のマジックテープを本体底面に取り付ける

2 対になってるマジックテープでダッシュボードに貼り付ける
※レーダーアンテナの前に自動車のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
※あらかじめ貼る場所のほこりや汚れ、油分をよく落としたあと、十分に行ってから貼り直しは、テープの粘着力を弱めます。

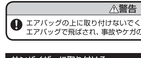
3 ソーラープレートの角度を調整する
※ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光が よく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。

⚠警告

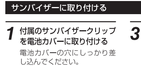
❗ エアバッグの上に取り付けないでください。万一のとき動作したエアバッグで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

サンバイザーに取り付ける

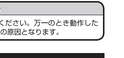
1 付属のサンバイザークリップを電池カバーに取り付ける
電池カバーの穴にいちっかり差し込んでください。



2 サンバイザーに挟み込む

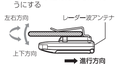


3 取り付け角度を調整する
本通路に対して水平に、また、アンテナが進行方向を向くようにする



※一部の厚みのあるサンバイザーや、特殊な形のサンバイザーへの取り付けができないことがあります。

4 ソーラープレートの角度を調節する



※フロントガラスがスモークやサンバイザー付近で、太陽光が充分に当たらない場合は、ダッシュボードへの取り付けをおすすめします。
※ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光が よく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。

⚠注意

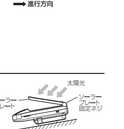
❗ ソーラープレートの角度を調節するときは、必ずソーラープレート固定ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

音量を調整する

1 電源を入れる
電源スイッチをONにします。
ターン オン ボイス(ガイダンス)ボイス"とお知らせし、電源ランプが点滅します。(DC12V電源供給時は、電源ランプが点灯します。)

2 音量を調節する
テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。
テスト&ミュートボタンを押す前から音量調節機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。
この状態で ボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が消えます。

●テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音（電子音/ボイス）を確認することができます。
いったんテスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。



警報音を選択する

レーダー波受信時の警報音は「電子音」または、「ボイス」を選択することができます。

電子音	「ピッピッピッ…」という電子音で警報します。
ボイス	「スピード注意」とボイスで警報します。

警報音の選択方法

初期値は「ボイス」に設定されています。

1 セレクトボタンを押す
「ボイス ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」、「ONです」とお知らせします。

- ボイスアラームはテンポアップしません。

オートウインドウ/ディマー機能

レーダー波の受信が約3秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

省力受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の受信状態の確認ができた
警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機はiDSP(統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の一瞬で強い電波に対しても、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別してボイスお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセルにより、取締り波形どうかを識別し、誤警報を抑えます。

［ステルス識別］
［インテリジェントキャンセル：特許 第3925553号、第4163158号］

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を進行する車はくれぐれもご注意ください。
- 新パターンの断続型レーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる思い、警告方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電磁式や光電式などもありますので、光源を走行する車にご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでステルス波の識別警報することがあります。
- 電子音/ボイスのどちらの警報音を選んでいるときでも、ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>
●専用のボイスでお知らせします。

レーダー波受信時の動作について（レーダーアラーム）

本機は、Wアラームと接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えています。

Wアラーム

音（電子音/ボイス）と光（レーダーランプ）のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

音（電子音/ボイス）と光（レーダーランプ）のダブルで警報します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
レーダーランプ	遅い点滅から早い点滅または点灯に変化します。

- ボイスアラームはテンポアップしません。

オートウインドウ/ディマー機能

レーダー波の受信が約3秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

省力受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の受信状態の確認ができた
警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないレーダー「ノンアシ」とレーダー波をアシストするレーダー「アシスト」の2種類の探知機能を搭載しています。
また、固定設置されたオービスだけでなく、過去に取締りや検問などがされた場所など、17種類のターゲットを識別してお知らせします。**【GPS17識別】**

●フレックスティマー
GPSの時刻情報により、それぞれの地域点より算出に適した、夜間の少ない明るさを約2段、暗くさを約3段まで。

GPS測位機能とは？

- 電源スイッチをONすると、GPS測位機能もONになります。(GPS測位機能のON/OFFにてあらかじめ設定できません)
- GPSの電波を受信(測位)できるまでは、GPSランプが青色で点滅します。
- 測位すると、「測位しました」とお知らせし、GPSランプは消灯します。約5分経過しても測位できないときは、「GPSをサーチ中です」とお知らせします。
- 測位しましたら、GPSの電波を受信できない状態が約5分(DC12V電源供給時は約30秒)以上続くと、「GPSを受信できません」とお知らせし、その後、再び測位すると「GPSを受信しました」とお知らせします。

●TVじゃるGPS測位障害について
車載TVなどとUHF65チャンネルの信号周波数帯に設定していると、GPS測位できない場合があります。
これは、UHF65チャンネルの信号周波数帯が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、測位するまで約10秒～3分かかります。購入直後やビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

●オービス3段階警報
ターゲット(ループコイル/LHシステム/新HシステムLレーダー式オービスに対する警報を約3km/500m/通過時(DC12V電源供給時)の最大3段階で行います。

ターゲットに近づくと…

<手前約1km(500m)のとき>
「(右/左方向)1kmで(500m)先 (高速道 Hシステムです)」

<通過時(DC12V電源供給時)>
「通過します」

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の表知(1km先/500m先)を、「この先)や「すぐ先」とお知らせすることがあります。

●トンネル出口ターゲット警報
トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービス(トンネル出口ターゲット)を警報します。
「トンネルの出口付近 (高速道 ループコイル)です」
※GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみ警報になります。

●トンネル内オービス警報
トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報することは、本機では、トンネルの約500m手前と入口手前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを警報します。
「トンネル内(高速道 LHシステム)です」
※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をボイスでお知らせします。
「(右方向)」「(左方向)」と進行方向左右のターゲットの方向であり、右車線、左車線を示すものではありません。
・ターゲットの反対方向に対しては警報されません。

●高速道路ボイス
ターゲットが高速道に設置されている場合、「高速道」とボイスでお知らせします。

●オービス通過告知
シガープラグコード接続時(DC12V電源供給時)は、オービスの撮影ポイント(※)の通過をお知らせします。
「通過します」
※GPSの測位状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。

●交通点監視ポイント警告
過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されています。約300m手前になると、「(右/左方向) すぐ先交差点監視ポイントです」とお知らせします。

●信号無視赤システム警告
信号無視赤システムの約300m手前から通過直前に、「(右/左方向) すぐ先 信号無視赤システムです」とお知らせします。

●交通監視システム告知
交通監視システムの約300m手前から通過直前に、「(右/左方向) すぐ先 交差点監視システムです」とお知らせします。

Nシステム告知について

Nシステムの約300m手前から通過直前に、「(右/左方向) すぐ先(高速道) Nシステムです」とお知らせします。

【Nシステム告知】のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを5回押す
「Nシステム ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。

インテリジェントキャンセル機能の使いかた

自動アプローチ誤警報を減らす機能です。GPSの位置情報を誤警報エリアとして自動で登録し、2回目以降、通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録は1回につき1箇所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいエリアを登録します。
(インテリジェントキャンセル:特許 第3902553号、第4163158号)

【インテリジェントキャンセル(アイキャンセル)】のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを2回押す
「アイキャンセル ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。

インテリジェントキャンセルのしくみ
① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。【1回目】
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合は、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。【2回目以降】
キャンセル中は、レーダーランプがゆっくり赤色の点滅をします。

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは「アイキャンセル」や電源を「OFF」にしても記憶されています。

自動登録されたエリアをすべて消去するには…
セットボタンを約3秒間押したままにすると、「アイキャンセルを全消去しました」とお知らせし、すべて消去します。
・消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
・エリアを個別に消去することはできません。

取締・検問エリア警告、固定式オービス警告について

過去に取締りや検問が行われた場所があらかじめ登録されています。登録ポイントから約1km 手前とエリアに入ったとき、エリア最初になったときの3段階でお知らせします。
※取締エリアや検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われているとは限りません。目安としてお考えください。

取締エリアの場合	
1km手前…	「(右/左方向) 1kmで(高速道) 取締エリアです」
エリアの中に入ったとき…	「取締エリア です スピード注意 取締エリアです スピード注意」
エリア最初になったとき…	「取締エリア外です」

検問エリアの場合	
1km手前…	「(右/左方向) 1kmで(高速道) 検問エリアです」
エリアの中に入ったとき…	「検問エリアです 検問エリアです」
エリア最初になったとき…	「検問エリア外です」

AAC/ASS機能について

GPSの速度情報と独自の演算処理により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット
●走行速度が時速30km未満の場合は…
取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。
・GPS測位ができない状態では、AAC機能は働きません。

ASS/最適感度選択
●走行速度が時速30km以上の場合は…
進行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。
・GPS測位されない状態では、ASS機能は働きません。このときエクストラ感度に固定されます。

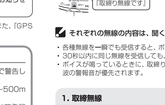
走行速度	受信感度	
30km～39km	シティモード	
40km～59km	ハイウェイモード	スーパー感度
60km～		エクストラ感度

【AAC/ASS】機能のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを3回押す
「AAC ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。
※OFFに設定した場合は、エクストラ感度に固定されます。

電源ランプの色と警報動作



駐禁監視エリア警告について

違法駐車取締りの添乗ガイドラインの最重点・重点地域内に進入すると、「この付近 駐禁監視エリアです」とお知らせし、駐禁エリア内は駐禁エリアランプが点灯します。
(DC12V電源供給がない場合は、駐禁エリアランプは点滅します)

【駐禁監視エリア告知】のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを6回押す
「駐禁 ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。

事故多発エリア告知について

過去に事故が多発した場所が登録されています。
登録ポイントから約300m手前で、「(右/左方向) すぐ先 事故多発エリアです」とお知らせします。

【事故多発】のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを8回押す
「事故多発 ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。

5 無線受信バンドについて

取締りレーダー波のX・K・Kインバンドとの GPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラス、5バンド受信ができます。

GPS + Kバンド/Xバンド + 無線2バンド = 5

【無線2バンド受信】のON/OFF設定のしかた
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを4回押す
「無線 ONです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す
セットボタンを押すごとに「OFFです」「ONです」とお知らせし、設定変更できます。

1. 取締無線・カーロケ無線受信機能について

初期値は「ON」に設定されています。

<各種無線を受信するとき>

① 取締無線

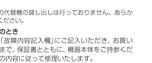
② カーロケ無線

それぞれの無線の内容は、聞くことができます。

- 各種無線を一括でも受信でき、ボイスが1フレーズ流れます。
- 30秒以内に同じ無線を受信しても、ボイスによるお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。

1. 取締無線
スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。350.1MHz取締無線受信機能は、これらの取締りに up to date に対応を発揮します。
※取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

2. カーロケ警報
カーロケーションシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムに地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーションシステムを搭載したパトカーは、GPSによる緻度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。



- カーロケーションシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- カーロケーションシステムは、全国的に新システムの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合があるますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

2. ベストパートナー2識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の選定を自動識別し、さらに発信元が優先になったときと思われる場合にも知らせします。**【簡外通知】【特許 第3780262号】**

識別項目	識別内容	警報音
①カーロケ通過	[カーロケ通方受信] 発信元が通方と思われるとき	※1 「[カーロケ通方受信です]」
	[カーロケ近接受信] 発信元が近接している可能性が高いとき	※1 「[カーロケ近接受信です]」
②カーロケ圏外	カーロケ近接受信後、発信元が遠ざかった可能性が高いとき	※1 「[カーロケ圏外です]」

※カーロケ無線が受信可能な一部の地域でのみ動きます。
※警報による アドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくくなります。

●前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

●対象の車が近くに来ると、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ちの取締りができるスタルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドア、信号機の近くに設置されている車検通過測線などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 3.6V(専用ニッケル水素電池) DC 12V(シガープラグ入力充電電圧)
消費電流	: 待機時：45mA以下(LHF使 OFF時) 最大：180mA以下
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーターヒダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 350.1MHz/407.7MHz帯
動作温度範囲	: −20℃～＋85℃ (GPS部：−20℃～＋80℃) (UHF部：－10℃～＋60℃)
外形寸法	: 65(W)×21(H)×103(D)mm
重量	: 133g(電池含む)

取締りのミニ知識

本機と、取締りの行方や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)
取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

・現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。

2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル・LHシステム・光電管式)
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
・この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して測ります。
・本機は取締りレーダー波を発射しているものについては検知できます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

●定置式
人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅い状況、探知しやすくなります。

●自動速度取締り機(ネHシステム、レーダー式オービス)
速度の測定と延築写真の撮影を自動的に行います。

●移動式
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。
それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、またはユピテル相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	・電源スイッチがONになっていますか。 ・バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ・ナビ/ノンアシ/LHF機能が働いていませんか。ニッケル水素電池だけでご使用の場合、停車中動作の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	・シガーソケットがふるえる車両からの補充電ができにくい場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。 ・シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコードの内部のヒューズが切れている場合がございます。 切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
レーダー警報しない	・電源スイッチONしても、電源ランプの点灯を確認してください。 ・警報機能が正しく設定されていますか。テストモードにセットしてお使いください。 ・取締りレーダー波が発射されていても、距離が遠く離れた場合や電波をおさえる指定区間から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 ・インテリジェントキャンセルがONされていませんか。キャンセル中はレーダーランプがゆっくり赤色の点滅をします。
GPS警報しない	・GPS測位をしていますか。 ・新たに設置されたオービスではありません。
取締りもしていないのに警報機が働く	・ローバッテリーランプが点滅しているときは、バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ・取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――電波受信レーダーと同じ電波を使用している主な機器―― ・電波式の自動ドア、防犯センサー、信号機の近くに設置されている車輌通過測線/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/自動ドア探知機の一部。 ・また、その他の無線局の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音がかさくなりランプも暗くなる	・レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音がかさくなり、ランプも暗くなります。
ひんぱんに無線警報する	・放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付け車やシガープラグ内蔵、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
N(システム)GPS告知しない	・N(システム)の設定はONになっていますか。 ・GPS測位していますか。 ・新設のN(システム)で、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	・アイキャンセルの設定はONになっていますか。 ・GPS測位していますか。 ・新Hシステムやレーダーオービスなどが近くにありませんか。 ・取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をご確認になってご、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分
機器本体(電池等の消耗部品は除く)

●修理をご依頼のときは
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
※修理期間中の代機等の貸しだしは行っておりません。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について
本機には当社のオービス、Nシステム、取締りエリアおよび検問エリアのデータが登録されています。
新規登録ポイントを追り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料(送料別 5,000円+税)にてデータを更新させていただきます。
※駐禁監視エリアのデータは更新できません。
お買い上げ販売店まで、本機をご持参ください。いったんお預かりし、弊社にてデータ更新後にお返しいたします。

ユピテルに相談窓口
お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。
・下記第3の名称、製造番号、所在地、郵便による変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお間違いのないようご注意ください。
・恒矢等による不明瞭品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00　月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター
0120-998-036